

様式第4号（第4条・第5条関係）

契 約 結 果 表（第2回変更）				
入 札 番 号		第 61 号	種 別	建設工事
工事等の 内 容	工 事 等 名	平成 27 年度 都市計画下水道事業 公共下水道 片岡 2 号汚水幹線工事（第 2 工区）		
	工事等箇所	吉田町 片岡 地内		
	概 要	推進工（φ250） L=78.70m 組立 1 号マンホール（内径 900mm） 2 箇所 立坑 鋼製ケーシング式土留 φ1800 1 箇所 舗装工 A=144 m ²		
	発注担当課	下水道課		
契約関係	契 約 方 式	制限付き 一般競争入札	入 札 日	平成 27 年 10 月 13 日
	契 約 相 手 方 商号又は名称	大石建設 株式会社		
	契 約 相 手 方 住 所	榛原郡吉田町大幡 2130 番地		
	契 約 金 額	¥40,824,000－	契 約 日	平成 27 年 10 月 16 日
	着 手 日	平成 27 年 10 月 19 日	完 成 期 日	平成 28 年 2 月 26 日
	随意契約の 相手方を選 定した理由	適用法令：地方自治法施行令第 1 6 7 条の 2 第 1 項第 号		
変更契約 関 係	変 更 後 契 約 金 額	¥43,263,720－	変更契約日	平成 28 年 3 月 22 日
	変 更 理 由	- マンホール（マンホールNo.331-1）の基準高を現況地盤に合わせ、調整する。それに伴い土量についても変更する。 - 舗装本復旧について、既設舗装との勾配調整を考慮し、9 m²増の 144 m²とする。 - 交通整理人について、近接する片岡 2 号汚水幹線工事（第 1 工区）と規制の調整をすることにより、8 人減の 192 人とする。 - 家屋調査について、対象家屋の形状を現況に合わせ変更する。		
	変 更 後 完 成 期 日	変更なし		

様式第4号（第4条・第5条関係）

契 約 結 果 表（第1回変更）				
入 札 番 号		第 61 号	種 別	建設工事
工事等の 内 容	工 事 等 名	平成 27 年度 都市計画下水道事業 公共下水道 片岡 2 号汚水幹線工事（第 2 工区）		
	工事等箇所	吉田町 片岡 地内		
	概 要	推進工（φ250） L=78.70m 組立 1 号マンホール（内径 900mm） 2 箇所 立坑 鋼製ケーシング式土留 φ1800 1 箇所 舗装工 A=135 m ²		
	発注担当課	下水道課		
契約関係	契 約 方 式	制限付き 一般競争入札	入 札 日	平成 27 年 10 月 13 日
	契 約 相 手 方 商号又は名称	大石建設 株式会社		
	契 約 相 手 方 住 所	榛原郡吉田町大幡 2130 番地		
	契 約 金 額	¥40,824,000－	契 約 日	平成 27 年 10 月 16 日
	着 手 日	平成 27 年 10 月 19 日	完 成 期 日	平成 28 年 2 月 26 日
	随意契約の 相手方を選 定した理由	適用法令：地方自治法施行令第 1 6 7 条の 2 第 1 項第 号		
変更契約 関 係	変 更 後 契 約 金 額	¥43,144,920－	変更契約日	平成 28 年 2 月 23 日
	変 更 理 由	・現場精査をした結果、薬注範囲及び数量を変更する。 注入本数として、発進立坑下流 5 本増、到達立坑上流 2 本減とする。 ・既設構造物があるため、マンホール位置を変更し、路線延長を 0.80m 減とするとともに、構造物とりこわし工を計上する。 ・通行上の支障を回避するため、将来路線箇所についても、マンホールを設置する。施工にあたっては、ケーシング内埋戻しをコンクリートから流動化処理土に変更し、地震による液状化対策と将来布設時の掘削に対応することとする。 ・排泥率を精査し、産業廃棄物処理量を 7 m³ 増とすることとしたい。 ・構造物とりこわし工による道路使用範囲の増や既設舗装との据付を考慮し、舗装本復を 116 m² 増とする。 ・交通整理人については、1 日 4 人としていたが、住宅や店舗等からの出入りにも対応するため、5 人体制とし、44 人増とする。		

		・既設埋設物に関する調査及び協議、対応に日数を要したため、当初の平成 28 年 2 月 26 日までの工期を平成 28 年 3 月 25 日まで延長する。
	変 更 後 完 成 期 日	平成 28 年 3 月 25 日

- (注) 1 「入札番号」とあるのは、単独随意契約にあつては「番号」と書き換え、契約結果一覧表（単独随意契約）の番号を記入すること。
- 2 「種別」欄は、「建設工事」、「業務委託」、「物品購入」、「物件借入」のいずれかを記入すること。
- 3 「入札日（見積書徴取日）」、「完成（了）期日」は、不要な文字を削除し作成すること。
- 4 契約方式は、「制限付き一般競争入札」、「抽選型指名競争入札」、「指名競争入札」、「随意契約」のいずれかを記入すること。
- 5 「着手日」とあるのは、物件の借入れの契約にあつては「開始日」と、「完成（了）期日」とあるのは、物品の買入れの契約にあつては、「納入期限」と書き換えて作成すること。